

2019年度 長寿の里 事業報告

自2019年4月 1日
至2020年3月31日

2019年度 長寿の里 事業報告

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 実績	96.6	97.0	97.4	97.7	97.2	95.4	95.9	95.1	98.8	96.1	96.1	96.9	96.7
	H31 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H31 実績	96.5	95.1	95.8	97.3	96.8	97.8	96.2	94.5	97.1	97.3	96.8	96.5	96.5
短期	H30 実績	96.1	95.8	99.0	96.2	95.5	95.8	93.4	94.6	73.9	54.3	80.0	89.5	88.7
	H31 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H31 実績	82.3	93.8	91.8	97.3	100.2	93.9	97.9	104.4	97.6	92.1	100.8	98.6	95.9
通所	H30 実績	88.8	89.4	87.9	92.8	92.2	95.2	96.1	95.9	92.9	94.9	95.2	91.5	92.7
	H31 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
	H31 実績	95.4	95.2	95.5	96.0	93.2	94.7	93.7	96.1	96.9	93.8	92.3	93.9	94.7
ケアハウス	H30 実績	93.7	95.6	96.2	94.5	95.1	97.3	99.4	97.8	95.4	94.9	99.3	96.8	96.3
	H31 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H31 実績	96.8	97.9	99.3	98.7	98.0	98.6	99.9	99.4	99.5	97.8	99.7	97.9	98.6
サ高住	H30 実績	96.0	96.9	96.8	93.4	92.1	91.6	92.6	92.3	95.7	93.3	96.8	96.0	94.5
	H31 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	H31 実績	96.0	93.9	92.3	84.3	88.5	91.3	89.2	87.2	85.2	94.4	98.0	98.0	91.5
有料	H30 実績	93.0	97.4	95.0	97.5	85.0	86.5	85.0	97.5	100.0	89.8	91.5	82.7	91.7
	H31 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績	92.0	95.0	100.0	98.0	100.0	100.0	96.0	95.7	93.0	94.0	92.0	94.0	95.8
訪問(件数)	H30 実績	3465.0	3533.0	3362.0	3459.0	3333.0	3241.0	3297.0	3533.0	3626.0	3620.0	3410.0	3859.0	3478.2
	H31 目標	3460.0	3570.0	3460.0	3570.0	3570.0	3460.0	3570.0	3460.0	3570.0	3570.0	3245.0	3570.0	3506.3
	H31 実績	3802.0	3946.0	3938.0	4039.0	3955.0	4262.0	4420.0	4182.0	4022.0	4156.0	4122.0	4362.0	4100.5
居宅(件数)	H30 実績	128.0	122.0	113.0	116.0	114.0	113.0	108.0	111.0	110.0	109.0	110.0	111.0	113.8
	H31 目標	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0
	H31 実績	111.0	115.0	116.0	112.0	114.0	119.0	118.0	125.0	119.0	128.0	119.0	110.0	117.2

香流川翔裕園(年度途中から事業開始の為別掲載)

特養	H30 実績													
	H31 目標				95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績				93.1	91.8	93.0	92.1	99.2	99.7	95.5	95.9	97.7	95.3
GH	H30 実績													
	H31 目標				95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績				48.6	47.1	50.0	50.0	46.1	64.0	71.0	83.1	98.0	62.0
小多機	H30 実績													
	H31 目標				95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績				63.0	58.0	60.0	63.0	74.0	62.0	62.0	76.1	67.0	65.0

2019年度 鎌ヶ谷翔裕園 事業報告

施設基本方針	
～大いなる目標必達の為に、P → D → C → A のサイクルを早め、凡事徹底しよう！～	
施設年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・人財確保 ・安定した運営と適正な経営 ・鎌ヶ谷市地域への地域貢献活動 	
重点項目に対する実績報告(各事業ごと)	
<p>【特養】 年間平均稼働率 95.7% (定員 従来:90名 ユニット:40名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月より、従来型の定員が64名→90名に増床し、2019年度は増床したベッド数での年間稼働が初めての年度でした。増床直後は不安定な期間が数カ月間あったものの、他職種間の連携により空床期間を最小限に留める事ができ、協力医療機関との連携や家族依頼などを密に行った結果、目標稼働率を達成する事が出来ました。 申請者数100件、入退所時の空床期間3日以内を必達し、次年度も安定した稼働に向けて取り組みます。 ・iPadの導入と記録の電子化を年度内で開始し、業務の効率化による職員の記録業務に係る負担軽減と、お客様に関わる時間の確保が出来ました。また、お客様の状態に応じた福祉用具を使用した移乗に取り組み、ノーリフティングに向けた取り組みを推進しました。年明け以降はコロナウイルスの流行に対して、例年行っている感染症対策に加えて館内の清掃や消毒を徹底すると共に、社会情勢や感染情報をキャッチしつつ対策を取り、感染なくケアに当たることが出来ました。 <p>【短期入所】 年間平均稼働率 93.8% (定員 30名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2月よりショートステイ専門棟別館がオープンし、今年度は定員30名での年間稼働初年度となりました。 特養とスペースが完全に分離したことにより、ショートステイをご利用になるお客様の状況や状態に合わせたサービスの実施を意識して取り組んで参りました。デイサービス同等のレクリエーションやリハビリを下半期から開始し、お客様だけでなく、ご家族や担当のケアマネからも反響をいただく事が出来ました。 ・営業活動においては、月間40件以上の営業を続け、毎月利用終了者数以上の新規獲得が出来た事で安定した稼働に繋げる事が出来ました。また、特養の入居待機者を常時1～2名確保し、空床利用型のメリットを活かしたショートステイから特養への移行を推進し、安心して特養までご利用いただけるための橋渡しの役割を意識して活動致しました。 <p>【通所・鎌ヶ谷】 年間平均稼働率 94.2% (定員35名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年で殆ど目標稼働を達成し、94.2%での着地となりました。年明けで入院者等が重なり稼働率が落ち込んだ時期がありましたが、コロナウイルスの流行による影響を受けつつも、毎月の訪問営業による居宅事業所との関係性構築が功を奏して、訪問営業が出来なくなってもコンスタントに新規利用者が獲得できており、稼働にも大きな影響を出すことなく年度を終える事が出来ました。 ・前年度から実施している「在宅生活応援プロジェクト」が居宅事業所に浸透しつつあり、施設外に出てレクリエーションやクラブ活動で練習した成果を発表する取り組み等に興味を持ってご利用される方が増えました。反響による新規利用者の増加は、介護度が軽度の方が多く、デメリットとして認知症加算要件のラインがギリギリになるなどがありますが、毎月の加算要件チェックを続け、割り込むことのない様に管理しながら調整を行っています。 <p>【居宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期では入院や施設入居などによる件数の伸び悩みがありましたが、下半期で改善し、着地は前年度を上回る結果となりました。 ・各専門職と連携を図りながら、お客様に対して迅速に対応して個々に合ったケアプラン作りに努めました。 <p>【全体総括】</p> <p>特養とショート増床後、年間通じての稼働としては初年度となりますが、いずれも今まで行って来た活動を継続し、ブラッシュアップする事で、ベッド数が増えてもお客様に満足して頂けるサービスを追求して活動出来ました。</p> <p>職員の確保においても、業務分掌をしつつ子育て世代とシニア世代の雇用を促進し、人件費率を意識した雇用を進める事が出来ました。次年度も継続しつつ、次代を担う人財確保に関しても注力して参ります。</p> <p>施設開所から20年以上が経過し、継続的に清掃に取り組んでおりますが経年劣化などやむを得ない修理や改修が必要になってきています。クリーンネス活動を通じて、すぐに改善できる部分と、大規模修繕を視野に入れた一部改修などを選択し、お客様が安心して気持ちよくご利用できる施設を念頭に活動致しました。</p> <p>コロナウイルスの流行など、不測の事態に対しても迅速かつ粘り強く立ち向かい、如何なる状況においてもお客様や地域の方々安心してご利用いただける施設であるべく次年度も活動致します。</p>	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 実績	96.2	95.1	98.2	98.8	96.6	93.7	97.8	95.1	106.0	95.6	94.9	95.6	97.0
	H31 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績	95.0	93.5	95.5	96.2	95.4	97.1	94.6	92.8	96.6	98.6	96.5	96.9	95.7
短期	H30 実績	95.1	97.4	99.7	97.5	97.3	95.0	91.7	89.5	59.6	36.5	69.3	86.0	84.5
	H31 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H31 実績	77.1	88.4	86.6	96.1	99.3	92.3	97.1	100.0	98.0	91.0	100.3	98.9	93.8
通所(鎌)	H30 実績	89.7	87.2	89.8	98.2	98.8	99.0	98.8	99.0	98.0	99.9	99.5	86.0	95.3
	H31 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
	H31 実績	95.7	96.5	95.2	96.6	92.3	93.5	94.3	95.9	97.7	91.3	86.5	94.6	94.2
居宅(件数)	H30 実績	78.0	78.0	80.0	83.0	81.0	79.0	77.0	77.0	72.0	74.0	72.0	71.0	76.8
	H31 目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	H31 実績	72.0	75.0	76.0	74.0	71.0	79.0	76.0	83.0	76.0	84.0	81.0	81.0	77.3

2019年度 行徳翔裕園 事業報告

施設基本方針

5年後の正規雇用3割・非正規雇用7割の人員配置確立の為、ICTを積極的に導入・活用し、育成基盤構築の為、研修・教育体制を整備して、介護スキルや業務効率をアップする。

施設年度目標

- ①グループ基本方針の徹底
- ②社会や社会人としてのルール・接遇マナーの周知と徹底
- ③介護の基礎・ケアプラン・介護記録の充実
- ④ノーリフティングの重要性を学び実践していく
- ⑤非常勤職員の人事制度の構築

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【軽費老人ホーム】

年間ベット稼働率

年間ベット稼働率98.6%(目標98%・対目標+0.8%・前年度比+2.3%)

持病による入院者に対して、直接病院へ訪問して様子を確認し、ご家族や医療機関と連携をとったことにより、より入院中の体調を把握することができました。施設での対応能可否をしっかりと確認できたこと、入院の長期化を防げたことで、前年入院数555日を今年度は223日へ削減できました。引き続き、医療機関へ直接出向くなど連携をしっかりとることで、入院の長期化を防ぎます。

自費サービスの活用

H31年度は自費サービス利用から直接介護保険へ切り替えて入居する方や、今年度毎月1～2名ずつ年間合計各13件あましたが、自費サービスを活用することで入退去による空床期間を平均3.2日に抑えることができました。

引き続き自費サービスを活用し、空床期間を最小限に抑えます。

【介護課】

余暇活動・行事の充実

各番街でのライブキッチン(天ぷらやお寿司など…)にこだわり実施しています。目の前で作る料理に音・匂い・彩り・触感・食事の温度・味の全てを皆様に満足いただきました。

また、月に1度、和喫茶を開いて、ご家族との団らん(面会)の場に活用して頂きました。

昨年に引き続き、今年度もディナー誕生会を毎月開催しています。料理内容を変更し一人ひとりの嗜好に合わせて、焼き加減やメニューを変更したり、装飾に拘ったりと皆様がより美味しくディナーを楽しんでいただけるよう実施し、今年度も一年で最も大切な誕生日を最高級のおもてなしで、お客様とご家族様をお祝いさせて頂きました。

来年度も、より皆様一人おひとりのお誕生日を心よりお祝いいたします。

【通所】

年間稼働率

年間稼働率98.6%(目標96.0%、対目標比+2.6%、前年度比+2.6%)

地域居宅へ毎月の居宅訪問時に、デイサービスで行っている行事などと一緒に空き情報を載せた広告をお持ちし行事の様子をお話ししながら、新規登録についての営業を実施しています。登録定員を満たしている曜日については、条件付きでの登録となりますが、週末は月何日位ご利用できるかを丁寧に説明し、変更があれば迅速に連絡をしています。

また、通所介護計画書の更新はご自宅へ訪問し、直接ご家族に説明しています。ご家庭の様子やニーズを確認しサービスに反映させています。結果、1日平均34.5名の利用お客様数とな、前年度比2.6%の稼働率向上に繋ることができました。今後も居宅やご家族様・お客様との良好な関係構築を図り、当日休みや解約者が出た際にも、スムーズに新規のお客様獲得に繋げ、安定した稼働を維持します。

【介護課】

アクティビティの充実

昨年に続き、個別ニーズ把握の為に、アンケートを実施しています。結果を基に、実施するレクリエーション職員会議で選定しています。また、創作活動では本格的な作品をご自身で制作し、自信や作ることへの意欲向上へ繋げることができました。引き続き、自慢したくなる・プレゼントしたいと思えるようなクオリティの高い創作活動を実施します。

【総括】

①四半期ごとに職員全体会議を開催し、グループ基本理念・方針について浸透と再確認、事業計画の進行状況や報告をおこなっています。また、日々のミーティング時に感動介護憲章唱和をおこなっています。

②社会や社会人としてのルール・接遇マナー研修を外国籍職員と、入職時に徹底し実施していますが、既存職員全員への研修が出来ていないため、次年度は計画的に実施します。

③介護基礎と記録については主任より、個別に指導をおこなっています。また、サービス担当者会議では、居室担当職員が参加し提供サービスの充実を図っていますが、月2回開催予定のところ1回のみ開催の月となってしまった事もあるため、予定日に開催できない場合は、担当職員のシフト調整をおこない1週間以内開催日を再設定し実施します。

④常勤職員がノーリフティング研修を受け、非常勤者へ指導をおこない、同時に日々主任がラウンドし、スライディングボードの使用状況確認と、個別指導をしています。ボード枚数を増やし各番外で、直ぐに対応できる体制をとっています。今年度導入した防犯カメラにより、事故の振り返り対応策を考え事故予防を実施できました。

⑤正規雇用3割：非常勤雇用7割の人員配置となっています。人員配置をキープし人件費を57%を維持します。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
軽費	H30 実績	93.7	95.6	96.2	94.5	95.1	97.3	99.4	97.8	95.4	94.9	99.3	96.8	96.3
	H31 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H31 実績	96.8	97.9	99.3	98.7	98.0	98.6	99.9	99.4	99.5	97.8	99.7	97.9	98.6
通所	H30 実績	89.5	89.1	91.8	95.4	92.0	99.8	99.8	99.3	98.1	99.2	98.7	99.8	96.0
	H31 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	H31 実績	99.8	99.8	99.8	99.8	99.0	99.2	97.4	99.8	99.0	99.6	94.4	95.9	98.6

2019年度 いちかわ翔裕園 事業報告

施設基本方針

組織風土の変革 ～新たな道へ～
施設としても、個人としても、しっかりとした目標を持ち、組織として目標達成に向けて恐れず実行あるのみ

施設年度目標

- ① 組織の再編成をし、組織風土の変革を行う。
- ② お客様の生活の楽しみを再確認し、全入居者様の生きがいを高める。
- ③ 1人1人の職員の目標、やりがいを再確認し、楽しみのある職場環境を整える。
- ④ 地域ニーズの把握、近隣事業者との連携の強化。
- ⑤ 事業計画、予算計画を意識し年間目標に向けて取り組む。

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】

相談課

目標の稼働率98%は達成できた。その中で、待機しているお客様が安心していただけるよう迅速に対応する目標については、居宅介護支援事業所・リハビリ病院・老健施設等の相談員やケアマネジャーとの信頼関係が少しずつ構築され、お客様の相談などを頂き、入居申し込みに繋がった。また、入居判定会議の方法を見直すことで、入居内定者の方を適正なユニットに選択ができるように対応し、ケアの充実を目指した。しかし、入居前の急なキャンセル、入居後間もないご逝去、また、2～3か月の長期入院者等が複数あり、大きく稼働率を低下した月もあった。今後も入居までのタイムラグを意識し、安定した稼働率が保てるように努力していく。個別ケアを重視したケアプラン作成の目標については、お客様の個性や情報取得がタイムリーにできず、抽象的な表現になってしまうことがあったが、第3四半期に介護課と連携し個別援助計画の見直しを図った結果、より具体的な個別ケアの実践を行うことができた。来年度も引き続き、個別援助計画とケアプランの連動性を意識し、よりお客様の個性や生活にあったプランを作成し、個別ケアの実践を行っていく。ターミナルケアに関しては、今年度は6割弱のお客様が看取り介護の選択をしていただき増加した。終末医療の意向を選択できることを施設利点としてアピールしていくと共に、引き続き看取り希望のお客様やご家族様が安心されるように、相談や丁寧な説明を行っていく。お客様やご家族様に終末期を当施設で迎えて良かったと思っていただけるように、多職種と連携していく。

介護課

ユニットリーダー実地研修施設として実習生の受け入れを行くことにより、自身の個別ケアの確認・徹底を行ってまいりました。結果として終の棲家としてご利用頂くことが増え、お看取りの実施をさせて頂くことにより稼働率98%を達成することが出来ました。個別ケアは身体面だけではなく、その方のお気持ちや在宅生活の継続となる設えの部分にも着目し実践して参りました。また職員の職位における権限や責任を明確に見える化し、その範囲での自由度を挙げたことで柔軟な発想が生まれ、お客様への新しい提案が出来る職員が増えています。サービス提供については同様に責任の明確化により、時間や効率の概念が根付き始めており、それによって生まれた時間をプラスアルファのサービスや余暇活動の充実に充てる事が出来ています。介護設備についてはお客様介護度の重度化に伴い、介護用リフトを追加購入し、活用、お客様の安全と職員の負担軽減に繋げています。

栄養課

今年度は、お食事の進まない方・ともすると栄養状態の低下に繋がる方に、安易に栄養強化食品に頼らず、あくまでも「お食事」という定義の中で「嗜好・形態・味・器・ポジショニング」等確認しながら進めることで、栄養強化食品の使用頻度を約50%以下に抑えながら改善することができました。今後も、家庭的なお食事をいつまでも楽しく、より安全に経口摂取して頂くために様々な方面からアプローチして参ります。

医務課

服薬管理については、服薬セットミス防止の為、3回確認を行うことで服薬セットミス防止に繋がっております。また、誤薬防止のため、服薬ケースにお客様の顔写真を貼り、本人確認のツールにすることとなっておりますが、落薬や服薬忘れが目立つため、今後、服薬方法についての勉強会を開催し、再発防止に努めます。また、感染症予防については、今後も継続して感染症対策委員会を中心に勉強会を開催し蔓延防止に努めます。

【全体総括】

稼働率においては、目標稼働率98%に対して、98%となり達成することができました。施設開設以来初めての98%代となり今後も更に高い目標を立て、お客様が安心して楽しく過ごしていただける環境を整えていきます。その中、ご逝去や退院不可により、25名の退去者がありましたが、ご逝去者のうち9割以上が施設でのお看取り対応となりました。退去後の新規受け入れ時に長い方で2週間かかってしまい、今後は、入居希望の方に早期にご入居頂けるよう入居調整をしていきます。職員状況においては、組織の再編成、組織風土の変革を年度目標に動いた結果、7名の常勤職員の退職となってしまい、人員補充をほぼ派遣職員で補う形となり、理念の浸透ができず、職員満足度を高めることができませんでした。次年度においては、再編成した組織をしっかりと確立し、職員がやりがいを持って、楽しんで仕事ができる環境を整え、職員満足度を高めていきます。この一年で、個々のユニットが、ユニットリーダーを中心に、お客様の為に何が出来るかを考え行動してきたため、次年度はより高みを目指し、それぞれのユニットがよい意味で競い合いながら、お客様の事を真剣に考え、サポートできるように努めていきます。少しずつではありますが、地域公民館とのつながりなど増えてきているため、これからも地域にとって必要とされる施設を目指し、地域の求めていることに常にアンテナを張って行動して参ります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 実績	98.7	98.4	97.6	97.6	97.0	95.6	96.0	96.1	95.1	97.5	97.6	98.0	97.1
	H31 目標	98.5	97.5	97.5	98.0	98.5	98.5	98.5	98.5	97.5	97.2	97.2	98.0	98.0
	H31 実績	98.6	97.3	96.6	99.2	99.5	99.9	99.5	96.6	96.9	96.1	97.9	98.1	98.0

2019年度 かしわ翔裕園 事業報告

施設基本方針	
個別ケアを追究しその方らしい暮らしの実現 ～在宅ではない施設でもない介護～	
施設年度目標	
①個別ケアの充実 個々の暮らし方、過ごし方を見つめケアの向上を図る ②運営適正化 年間を通じて施設全体での黒字化を実現し、適正な運営を行う ③人材の確保 介護職員の採用活動を工夫、充実させ、人材を確保する	
重点項目に対する実績報告(各事業ごと)	
【サービス付き高齢者向け住宅】 ①住宅の特徴である個人単位でのサービスに対してサ高住独自の自費サービスを導入し、ご入居者の介護保険以外でのニーズが可能となるように選択肢の幅を広げインフォーマルなサービス分野を強化した。 ②PR活動と法人内の共通入居申込みや連携を活用したが待機者を確保する目標は未達となってしまった。また、医療機関等との連携を徹底することで入院者削減する目標であったが、随時入院者が発生してしまい前年から倍増、稼働目標を達成することで出来なかった。 【住宅型有料老人ホーム】 ①個々の身体状況に応じた介護サービスが提供出来る様に居宅ケアマネと連携しサービス内容を調整、ご入居者が必要となるフォーマルな介護サービス分野で個別サービスを強化した。 ②年度当初より、個室の家賃を適正価格へと変更し増収を図っている。また、増税に伴う食費の増税分を追加し適正価格へと変更している。またご入居者の入れ替わりも少なく、高稼働を維持することが出来た。 【通所】 ①日々の選択クラブ活動とイベントを開催を盛り込み、ご利用者が楽しんで主体的にご参加頂ける活動展開、レストランメニューも好評を頂いており、おおよそ個々の要望に寄り添うことが実現出来ている。 ②定期的な訪問営業により新規ご利用者を獲得、稼働率を向上することが出来たが、利用休止廃止者も多く目標稼働まで達することは出来なかった。 【訪問介護】 ①個々の身体状況に応じてサービス内容を検討しサービスを導入、居宅ケアマネと連携し随時見直しを行うことが出来た。 ②訪問介護サービスで提供可能なサービス内容をフル活用し、ご利用者の状態に合わせたサービスを導入することで目標数を大きく上回る回数を確保することが出来た。サ責を中心にサービス提供回数を確保することを念頭に置き、キャンセル等も極力発生しないよう事前確認を行った。 ③職員紹介による人員確保が進展し、ヘルパーを雇用することが出来ている。短時間労働のヘルパーを活用しサービスの増大と人員確保双方を行うことで派遣職員を削減、人件費の抑制を行うことが出来ている。 【居宅】 ①サ高住/有料のご入居者のケアプランが主となり、短期間でアセスメントを行い、訪問介護と連携を図り状態の変化に合わせたケアプランを作ることが出来ている。 ②必要な社会資源を活用することで介護保険以外でも個別のニーズに応えることが出来る様に体制を整えている。 【全体総括】 施設全体の稼働について、入居においては退居から入居までのタイムラグによる稼働低下、通所においては休止者、体調不良が発生することで目標稼働未達の月が発生してしまったものの、入居、通所において上限の稼働に達しており、より細かい調整が必要であった。人材については、職員同士の紹介による直接雇用の職員が増え、ケアの増加とリンクして進展することが出来た。また、各事業の管理者による管理、指導も強化され職員も定着してきている。総じて訪問介護のサービス提供回数が予定数を大きく上回り、派遣職員も削減することで施設全体で黒字化を達成することが出来ている。 昨年度末から調整を行ってきた訪問介護によるサービスの増加と家賃等の値段変更、人材の確保、全てが重なり施設全体が適正運営を行え、ようやく結果が出て前向きになることが出来る一年となった。次年度は今年度以上の結果が残せるように計画的によりスピード感を持ってチャレンジしていく。	

年間数値目標と実績(利用率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	H30 実績	96.0	96.9	96.8	93.4	92.1	91.6	92.6	92.3	95.7	93.3	96.8	96.0	94.5
	H31 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	H31 実績	96.0	93.9	92.3	84.3	88.5	91.3	89.2	87.2	85.2	94.4	98.0	98.0	91.5
有料	H30 実績	93.0	97.4	95.0	97.5	85.0	86.5	85.0	97.5	100.0	89.8	91.5	82.7	91.7
	H31 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績	92.0	95.0	100.0	98.0	100.0	100.0	96.0	95.7	93.0	94.0	92.0	94.0	95.8
通所	H30 実績	83.2	91.3	81.5	81.9	84.3	87.4	90.4	90.8	80.6	89.0	88.3	83.5	86.0
	H31 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績	87.5	85.0	88.5	89.0	85.0	89.0	85.0	91.0	93.5	88.5	93.5	87.5	88.6
訪問介護 (件数)	H30 実績	3173.0	3232.0	3069.0	3173.0	3033.0	2911.0	2877.0	3123.0	3262.0	3259.0	3102.0	3529.0	3145.3
	H31 目標	3100.0	3200.0	3100.0	3200.0	3200.0	3100.0	3200.0	3100.0	3200.0	3200.0	2900.0	3200.0	3141.7
	H31 実績	3445.0	3569.0	3540.0	3597.0	3588.0	3879.0	3987.0	3727.0	3608.0	3787.0	3763.0	3984.0	3706.2
居宅(件数)	H30 実績	50.0	44.0	33.0	33.0	33.0	34.0	31.0	34.0	38.0	35.0	38.0	40.0	36.9
	H31 目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	H31 実績	39.0	40.0	40.0	38.0	43.0	40.0	42.0	42.0	43.0	44.0	38.0	29.0	39.8

2019年度 ふなばし翔裕園 事業報告

施設基本方針

シナジーでさらなる飛躍の年にします！

2019年は船橋エリア（つかだケアセンター爽やかな風・ふなばし翔裕園）の運営一体化による相乗効果を発揮すると共に、一致団結しさらなる進化を目指し飛躍していきます。

施設年度目標

1. 人財確保と組織の核になるリーダー育成
2. 船橋エリア（在宅サービスと入居サービス）の連携によるサービスの質の向上と地域貢献
3. 稼働率の安定と経費のスリム化による全事業収益確保

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 95.7% (目標98% 対目標比 -2.3% 対前年比 -0.1%)

- ・目標稼働率達成できなかった。
要因 ①年間通して転倒による骨折や持病の悪化・肺炎による長期入院が多く発生した。
②1月～2月にかけてご逝去による退去者が続き、感染症流行により実調を断られるケースもあり待機者確保が間に合わず稼働率低下となった。
- ・ふなばしエリアの在宅部門と協力して営業活動や新しく毎月の全体行事を企画実施し、短期入居やつかだケアセンターの利用者から特養入居に繋げることができた。引き続きふなばしエリアとして在宅部門と入居部門の連携を強化していく。
- ・特養入居の入院者の居室を短期入居にて空床利用することで、施設総稼働率98%の目標達成を目指したが、2月から3月にかけてコロナウイルス感染拡大予防のため空床利用を控えたことも影響し、96.39%にとどまり未達となった。

【短期入所】 年間平均稼働率 102.3% (目標100%以上 対目標比 +2.3% 対前年比 +1.3%)

- ・目標稼働率達成となった。
要因 ①年間新規登録者数43件、目標月3件に対し平均3.7人と目標達成となった。
②特養空床を最大限活用、キャンセルを見据えキャンセル待ちを多く確保、それらにより稼働率向上した。
- ・毎月月初に実績を居宅のケアマネへ直接手渡すことと、在宅部門で毎月営業会議を行い新規居宅を増やすために連携した営業を行うことで、一年通して新規の問い合わせは多く、毎月安定した稼働率を確保できた。
- ・恒例の日替わりレクや毎月の調理レクの他に、新しく特養とデイサービスと連携し2ヶ月に1回の料理教室を開催し、ショートステイを利用することの楽しみが増え、お客様の満足度向上と定期的な利用に繋がりました。

【訪問介護】 年間平均訪問回数 394.3回 (目標360回 対目標比 +34.3回 対前年比 +61.6回)

- ・目標訪問回数達成となった。
要因 ①ふなばしエリア在宅部門での営業会議を開始し、効果的な営業活動ができた。
②居宅ケアマネに担当者会議等で空き状況を提供するとともに、登録ヘルパーとの調整をこまめに行なった。
- ・特養併設の強みをいかし特養と在宅部門と合同での研修に参加し、基本介護技術の向上や感染予防の知識習得に努めた。
- ・年間新規登録は36件で目標未達成となったが、居宅やお客様へ新規の契約時に自費サービスの内容を説明し、下期は毎月自費契約を獲得することが出来た。

【通所】 年間平均稼働率 95.18% (目標87.5% 対目標比 +7.68% 対前年比 +8.02%)

- ・目標稼働率達成となった。
要因 ①登録者数38件以上/月、新規獲得1名以上/月、1日平均利用12名以上を徹底した。
②全曜日登録者数14名以上維持することで、キャンセル者が発生した場合でも高稼働率を維持できた。
- ・新規獲得者よりも終了者が多い結果となるも、全曜日14名以上の登録者を確保できた。空き曜日についても、既存利用者の曜日追加等を含め、1週間以内で空きを埋めることができたことにより、目標稼働率を達成することができた。
- ・平成31年度は、船橋エリアの在宅部門として営業や広報活動の実施、合同での行事を定期的に開催し、連携強化と営業活動の効率化等を図った。それにより、稼働率の安定と営業エリアの拡大や営業効率アップに繋がった。

【全体総括】

- ・年間稼働率目標に対し短期入居、訪問、通所は達成したが、特養は未達成となった。特養については、年間通して稼働が安定しない月が多く、入院者の空床を短期で活用し総稼働率の安定に努めた。短期入居、訪問、通所においては、今年度より船橋エリアの在宅チームとして毎月営業会議を実施。その結果、連携し営業することで効率的な営業ができるようになった。また、第1四半期に施設見学会を居宅ケアマネや相談員向けに実施し、在宅部門全体を今まで以上に地域の方々にアピールすることができ新規獲得にも繋がり、稼働率目標達成となった。
- ・職員の確保と育成について、派遣職員から直接雇用への切り替えを積極的に試みたが、1名のみという結果だった。また、常勤非常勤問わず既存の職員が離職せず成長できるよう働き方について面談の機会を定期的に設け、法人や施設の理念のや、個々の目標等の共有を図る事ができた。
- ・職員の資格取得を目指し、介護福祉士合格は2名のみだったが、実務者研修受講やアセッサーの取得を積極的に行ない、個々のスキルの向上とケアの統一を図る事ができた。
- ・船橋エリアとして入居部門と在宅部門が一体化したことで、効率的な営業活動による稼働率アップの他、食事の合同化や研修やイベントの合同開催により、経費のスリム化やサービスの質の向上に繋がった。次年度は在宅部門の訪問介護事業において、市川エリアへのサービス拡大に向けて営業活動を強化していく。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 実績	94.4	97.5	96.3	96.6	98.2	97.0	93.4	94.0	94.8	95.0	95.8	97.1	95.8
	H31 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H31 実績	96.1	94.8	95.2	96.6	95.7	96.3	94.4	94.3	98.0	96.8	96.0	93.8	95.7
短期	H30 実績	99.0	91.0	96.7	92.3	90.0	98.0	98.7	110.0	116.8	107.7	112.1	100.0	101.0
	H31 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H31 実績	98.0	110.0	107.3	101.0	103.2	98.7	100.3	117.7	96.5	95.5	102.1	97.5	102.3
訪問	H30 実績	292	301	293	286	300	330	420	410	364	361	308	330	332.9
	H31 目標	360	370	360	370	370	360	370	360	370	370	345	370	364.6
	H31 実績	357	377	398	442	367	383	433	455	414	369	359	378	394.3
通所	H30 実績	93.2	92.9	82.2	88.2	86.8	84.9	87.5	86.1	84	78.8	84.9	96.4	87.2
	H31 目標	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5
	H31 実績	94.7	95.2	95.4	94.9	92.9	94.8	95.2	94.3	94.5	92.9	100.3	96.2	95.1

2019年度 香流川翔裕園 事業報告

施設基本方針	
安定した施設運営のための基盤作り	
施設年度目標	
①目標稼働率の達成と営業力の向上 ②グループホームのフルオープン ③勤務体制の見直しと必要な人員配置の確保	
重点項目に対する実績報告(各事業ごと)	
<p>【特養】 年間平均稼働率 95.3% (目標95%)</p> ①事業開始当初は入居待機者情報が整理されていませんでしたが、申し込み書を3事業共通の書式に変更し一括管理できるようにすることで、空床が出た際のスムーズな案内に繋がるようになりました。入院が長期化することも少なかったため、目標稼働率を達成することができました。 ②グループホームの人員確保を優先するため、特養で不足していた人員については、他施設の職員に応援を依頼しました。相互の研修や交流としての役割も果たし、特に今後の教育体制を整えていく過程において役立つ経験をすることができました。 ③ロング夜勤を短夜勤に変更し、それに伴い早番・遅番の時間帯も変更しました。食事介助を必要とするお客様が多く、食事時間帯の業務集中に対し時間外勤務が多く発生しているため、業務が集中する時間帯のシフトを工夫し、適正な人員配置に近づこう努力していきます。 【グループホーム】 年間平均稼働率 62.0% (目標95%) ①南ユニットが休止している状況で事業を開始し、5カ月の間再開することができなかったため、目標稼働率を達成することはできませんでした。フルオープン後は、近隣居宅への営業の効果もあり順調に新規受け入れをすることができました。 ②目標とした12月1日フルオープンと3月中満床を達成することができました。新人職員の研修状況も考慮しつつ計画的に新規受け入れをすることで職員の負担軽減に努め、既存、新規双方のお客様に対するリロケーションダメージも最小に抑えることができました。 ③各種媒体を活用しフルオープンに必要な職員の確保をすることができましたが、紹介や派遣が多く人件費が高騰する結果となりました。ロング夜勤から短夜勤に変更し、早番・遅番の時間帯も変更し、帰宅願望等のBPSDが出現しやすい夕方時間帯には短時間勤務者を配置するなど、人員が過剰にならないように見直しを実施しました。 【小規模多機能】 年間平均稼働率 65.0% (目標95%) ①入居施設と比較すると問い合わせ件数が少なく、地域における認知度も低いため、小規模多機能を中心に香流川翔裕園の営業を行うようにしました。グループホームの人員確保を優先したため小規模多機能の不足人員を補うことができず、登録者数を増やすことはできませんでした。近隣の居宅からの問い合わせは少しずつ増えてきています。 ②グループホームへの入居希望者が多く、登録定員が大幅に減少することが予測されていましたが、小規模多機能のサービスで自宅での生活を支援することができ、入居を先延ばしにすることができています。また、グループホームに入居予定の方が待機のために泊りサービスを利用していただくことで、グループホームへのスムーズな入居が可能になっています。 ③ロング夜勤を短夜勤に変更し、新たに早番・遅番の勤務帯を加えました。採用した非常勤職員が定着せず、必要な人員を訪問や送迎業務ができない派遣職員で賄っているため、職員を定着させるための教育が課題となっています。 【全体総括】 事業が開始した直後は事業継承という特別な状況下に不安を感じるお客様や職員が多く、お客様が安心して利用を継続でき、職員が目標を持って働ける環境を整えるにはどうしたらいいのか、問題を職員間で共有し、全体で課題に取り組むことが大事であると意識してもらうように努めました。 転籍した職員の離職は少なく抑えることができましたが、新たに採用した職員については教育が行き届かない現状があり、教育体制の整備が急務となっています。採用については、グループホームを1日も早くフルオープンさせるために派遣や紹介での職員確保を行った結果、年間人件費率は73%となりました。 営業活動については12月より開始し、計画的な活動を軌道に乗せる矢先に、コロナウイルス感染拡大防止により居宅訪問が困難な状況になってしまいました。訪問を中止し、電話等での活動に切り替えることになりましたが、小規模多機能については入居サービス程の反響が無いため、効果的な営業方法を探りつつ新規契約者の確保に努めます。 今年度は安定した施設運営を行うための基盤の整備に努めて活動しました。食費や居住費の見直しを行ったことで次年度より収益増を見込むことができます。また、直接雇用が増えるような採用活動を行うことや人員配置を適正にしていくことで人件費を抑制できるようにします。 活動の中で浮き彫りとなった課題を次年度の目標とし、経営の黒字化に向けて全職員一丸となり取り組んでいきます。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 実績													
	H31 目標					95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績					93.1	91.8	93.0	92.1	99.2	99.7	95.5	95.9	97.7
GH	H30 実績													
	H31 目標					95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績					48.6	47.1	50.0	50.0	46.1	64.0	71.0	83.1	98.0
小多機	H30 実績													
	H31 目標					95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H31 実績					63.0	58.0	60.0	63.0	74.0	62.0	62.0	76.1	67.0